

漫画「ぼくの伴侶 猫と大佛次郎物語」原画とともに

おさらぎじろう 作家・大佛次郎の生涯を紐解く！



横浜・港の見える丘公園内の大佛次郎記念館では、横浜生まれの作家・大佛次郎(1897-1973)の仕事と暮らしを、へげかもこ作の漫画「ぼくの伴侶 猫と大佛次郎物語」とともに紹介するテーマ展示を開催しています。

大佛次郎と妻・酉子(とりこ)は大の猫好き。

大佛次郎は小説やノンフィクションのほか、エッセイや童話「スイッチョ猫」など、猫好きにはたまらない作品を残しています。

展示では、漫画原画約25点に合わせ、女優だった酉子夫人との出会い、鎌倉での生活、「鞍馬天狗」の誕生秘話など、夫妻の歩みと作家の仕事を紹介します。

1階ロビーではパネル展示【「ぼくの伴侶 猫と大佛次郎物語」1話まるごと展示(第7話)】を開催。こちらもお見逃しなく。

【4月30日・5月1日】

2日間連続 ポストカードプレゼント

4月30日は、大佛次郎没後50年の日。

翌日の5月1日は、大佛次郎記念館開館記念日です。

これを記念し、この2日間にご来場の方に、特製ポストカードを1枚プレゼントします。

【対象】4/30・5/1に、大佛次郎記念館観覧券をご購入の方 先着100名様(各日)



上：へげかもこ「ぼくの伴侶 猫と大佛次郎物語」カラー原画(画像原画は後期からの展示)

左：へげかもこ「ぼくの伴侶 猫と大佛次郎物語」漫画原稿

右：酉子夫人着用のドレス 1920年代(画像は前期展示風景、後期はワンピースを展示)

展示会期	2023年4月22日(土)～8月20日(日) <small>前期</small> 4/22(土)～6/25(日) <small>後期</small> 6/27(火)～8/20(日)	料金	観覧料 一般(高校生以上)200円 中学生以下 無料 ※横浜市内在住の65歳以上の方は100円 ※毎月23日「市民の読書の日」と、第2・第4土曜日は高校生無料 ※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料
開館時間	10:00～17:30(入館は17:00まで)		
休館日	月曜日(祝休日の場合は翌平日) 5月1日は開館(開館記念日)		

※当展示会の情報掲載をよろしくお願ひします。取材の際は事前にご一報ください。広報用画像の提供が可能です。

お問い合わせ先

大佛次郎記念館【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】

館長:吉原瑞恵 展示担当:金城瑠以 広報担当:大房奈央子 TEL:045-622-5002 Mail:osaragi@yaf.or.jp

横浜生まれ、鎌倉住まい、
猫好き作家の物語。

おさらぎ じろう展

漫画「ぼくの伴侶
猫と大佛次郎物語」より

「おさらぎ」

©「ぼくの伴侶 猫と大佛次郎物語」
へげかもこ/少年画報社

大佛次郎と西子夫人(1941年頃)

大佛次郎 没後
50年記念



2023.4.22sat _ 8.20sun

おさらぎ じろう きねん かん
大佛次郎記念館

(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団) The Osaragi Jiro Memorial Museum
〒231-0862 横浜市中区山手町113(港の見える丘公園内)
TEL:045-622-5002 FAX:045-622-5071 <http://osaragi.yafjp.org>



開館時間 10:00~17:30(最終入館17:00)

休館日 毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日)、5/1(月)は開館

観覧料 一般 200円/中学生以下無料/20名以上の団体は150円

*横浜市内在住の65歳以上の方は100円。(濱ともカード等をご提示ください)

*障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。

*毎月23日(市民の読書の日)と第2、第4土曜日は高校生無料。

おさらぎ じろう展

漫画「ぼくの伴侶
猫と大佛次郎物語」より

作家 大佛次郎(1897-1973)は、「鞍馬天狗」シリーズをはじめとする小説約500作品、エッセイや戯曲、童話など幅広いジャンルの作品を執筆しました。
本展では、その仕事と暮らしを、へげかもこ『ぼくの伴侶 猫と大佛次郎物語』とともに紹介します。現実の大佛次郎と、『ぼくの伴侶』の大佛次郎。そして人生の〈伴侶〉である酉子夫人や猫たち。漫画の世界と当館所蔵資料の間を行き来しながら、大佛次郎の足跡を辿ります。

へげかもこ『ぼくの伴侶 猫と大佛次郎物語』

雑誌「ねこぼんち」誌上で2020～22年に連載。
大佛次郎のエピソードをもとに、フィクションを加えた漫画作品。「霧笛」や「ドレフス事件」など作品誕生の背景や、〈伴侶〉たちとの間に育まれる絆を優しいタッチで描き出しています。

©「ぼくの伴侶 猫と大佛次郎物語」へげかもこ／少年画報社

サロン トーク

「大佛次郎を漫画にするまで ―猫と資料とストーリー―
作家の生活を漫画にする、その制作の裏側にせまる。
大佛次郎と漫画と猫たっぷりのトークイベント。

出演 へげかもこ(『ぼくの伴侶 猫と大佛次郎物語』著者)、常山美栄子(「ねこぼんち」編集長)
日時 6/11(日)14:00～15:15(予定)
会場 2階サロン

参加費 無料(要観覧料・定員25名)
事前申込 4/22～当館ホームページにて受付開始
協力 少年画報社ねこぼんち編集部



「鞍馬天狗」初の単行本
『幕末秘史 鞍馬天狗』
1925年

猫は僕の趣味では無い。いつの間にか生活になくってはならない。優しい伴侶になっている猫の姿。
大佛次郎「黙っている猫」より



第4話より

パネル 展示

「ぼくの伴侶―猫と大佛次郎物語―
一話まるごとパネル展示
会場 1階ロビー



※ポストカードはイメージです。

動画 上映

「大佛次郎 鎌倉の家」(約12分)
大佛次郎が鎌倉で暮らした家。
記録動画を随時上映します。
会場 2階サロン



大佛夫妻と猫たち(鎌倉 雪の下にて)

お楽しみ企画

★2日連続!!ポストカードプレゼント
大佛次郎没後50年の日の4/30(日)&開館記念日5/1(月)は、観覧券ご購入の方、先着100名様に特製ポストカード1枚をプレゼント!

★夏休み企画
7/4(火)～8/20(日)
大人も子どもも楽しめるコーナーをご用意してお待ちしています。

※各イベントの詳細は、当館ホームページにてご確認ください。



左:収入や生活費について夫妻が取り交わした「マリコン条約」1925年
右:「マリコン条約」に立会った猫、ふうちゃん



電車 ●みなとみらい線(東急東横線直通)で:元町・中華街駅下車(元町方面改札)/6番出口(駅直結のエレベーター・エスカレーターを利用、アメリカ山公園経由)/5番出口(谷戸坂経由)いずれも徒歩8分
●JR線根岸線で:石川町駅下車(元町口)徒歩20分
バス ●神奈川中央交通バス11系統(桜木町駅～保土ヶ谷駅東口)
●市営バス20系統(山手駅～桜木町駅)
●観光スポーツ周遊バス「あかいくつ」いずれも港の見える丘公園前で下車、徒歩2分

大佛次郎記念館

〒231-0862 横浜市中区山手町113(港の見える丘公園内)
TEL:045-622-5002 FAX:045-622-5071
http://osaragi.yafjp.org

もっと
知りたい!

日本画家・鏗木清方 と 作家・大佛次郎

鎌倉市鏗木清方記念美術館 × 大佛次郎記念館 相互割引

鏗木清方記念美術館(割引期間7/1㊥～10/18㊦) 大佛次郎記念館(割引期間7/1㊥～12/10㊧) 該当期間にチケット半券をご提示で、各施設の観覧料を50円割引いたします。その他、鎌倉ガイドツアー(事前申込制)などいろいろな連携事業を行います。詳細は各館ホームページ、SNS等で発信していきます。

【展示解説】

第2土曜日14:00～約30分
5/13、6/10、7/8、8/12

【たてものミニ・ミニトーク】

第3土曜日14:00～約15分
5/20、6/17、7/15、8/19

※事前申込制、お申込は当館ホームページより

次回展示予告

2023/8/26(土)～12/10(日)
大佛次郎没後50年記念 特別展

初公開&出版記念
「南方ノート」と「戦後日記」
―大佛次郎が見た戦中・戦後―

出版予告

『南方ノート・戦後日記』

既刊の『敗戦日記』の前後をつなぐ
大佛次郎の2つの日記群、初の活字化。

発売予定
2023年
夏

猫は人生を豊かにしてくる
大佛次郎 漫画化
猫を愛する
鎌倉ゆかりの文豪
へげかもこ 著
絶賛発売中!!
1冊 絶賛発売中!!
発行:少年画報社
980円(税別)

一途に夢を追いかけた青年は、やがて日本中を沸かす人気作家・大佛次郎となる。苦悩と歡喜の人生の傍には、常に愛する妻と猫がいたのだった。明治、大正、昭和と時代を駆け抜けた小説家の激動の半生をオリジナルストーリーを交え漫画化!!